



富山市都市マスタープラン

公共交通を軸とした都市の再構築による
拠点集中型のコンパクトなまちづくり

概ね20年後に向けた都市づくりに関する計画である「富山市都市マスタープラン」の詳細は
富山市ホームページ（ホームページ番号1018739）に掲載しています



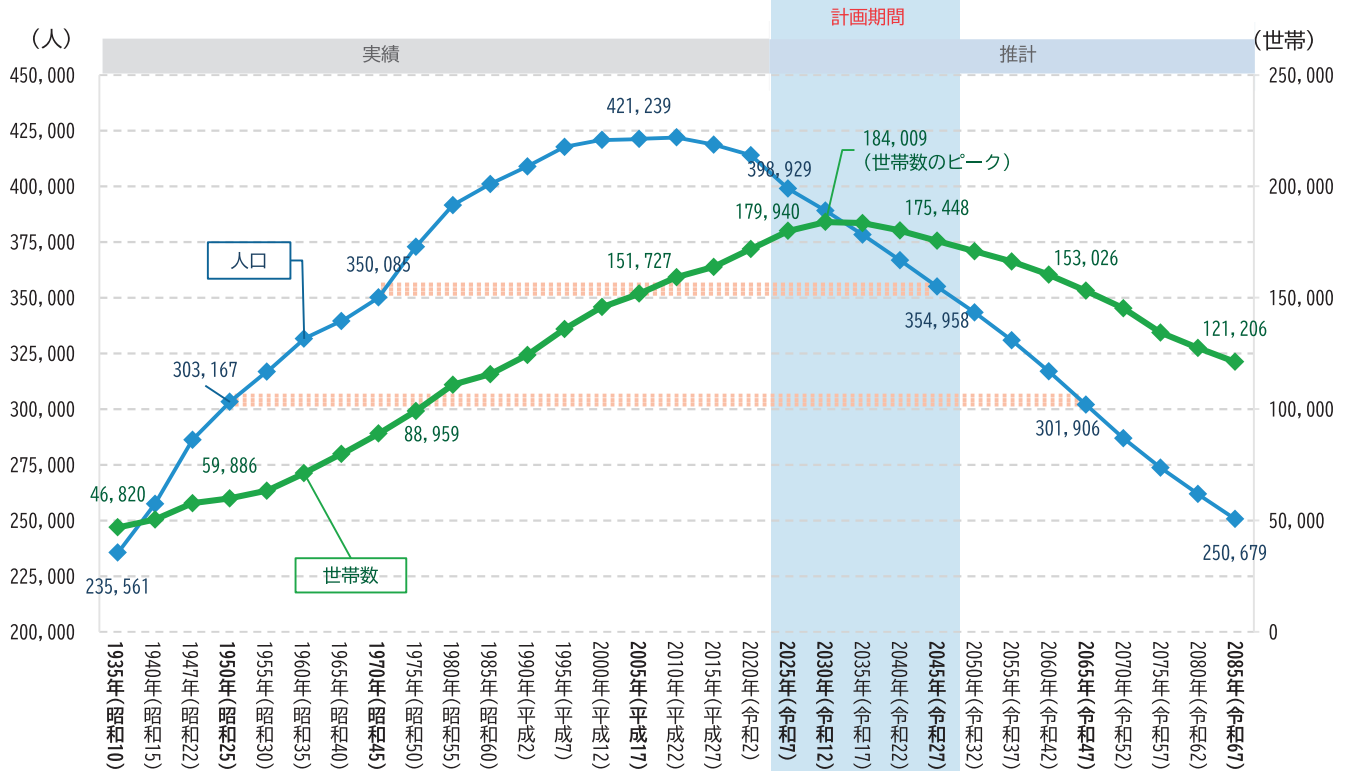
コンパクトなまちづくり、これまでとこれから

富山市はこれまで、本格的な人口減少や少子・超高齢社会の到来を見据え、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」に取り組んできました。

このことにより、まちの無秩序な拡大と低密度化に一定の歯止めがかかり、持続可能で魅力ある“まち”への転換が進みつつあります。

しかし、団塊世代の高齢化などに伴い、20年後には人口が約1割減少し、令和12年頃からは世帯数も減少することが予測されていることから、子どもや若者が減少し、経済の低迷が危ぶまれるだけでなく、市街地に様々な影響を及ぼし、“まち”の問題は、より複雑化・深刻化することが懸念されます。

■人口減少の本格化と世帯減少への転換



出典：実績値（1935年～2020年）は国勢調査、推計値（2025年～2070年）は富山市将来人口推計報告書（令和7年2月）の中位推計値、推計値（2075年以降）は住民基本台帳データを基に、250mメッシュ単位で集計処理して算出

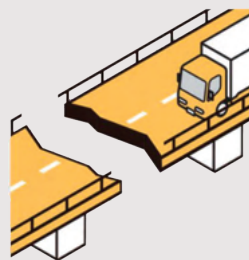
■空き家・空き地の増加



新たに家を建てたり、活用したりすることが難しい空き家・空き地が増えています。

これらをそのままにしておくと、まちの魅力低下につながるほか、治安や衛生など、生活環境が悪くなる恐れがあります。

■社会インフラの老朽化の進行



上下水道・橋りょうなど、いわゆる社会インフラの老朽化が進んでいます。

これらを計画的に更新し、適正に管理しなければ、地震や河川の氾濫などの災害に弱いまちになる恐れがあります。

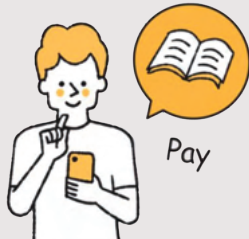
■公共交通の持続性の低下



人口減少に伴い、公共交通の利用者も減少が見込まれています。

このため、路線バスなどが廃止されてしまう可能性があり、学生や高齢者など車を自由に使えない人にとって不便なまちになる恐れがあります。

■ライフスタイルの変化に伴う都市機能の低下



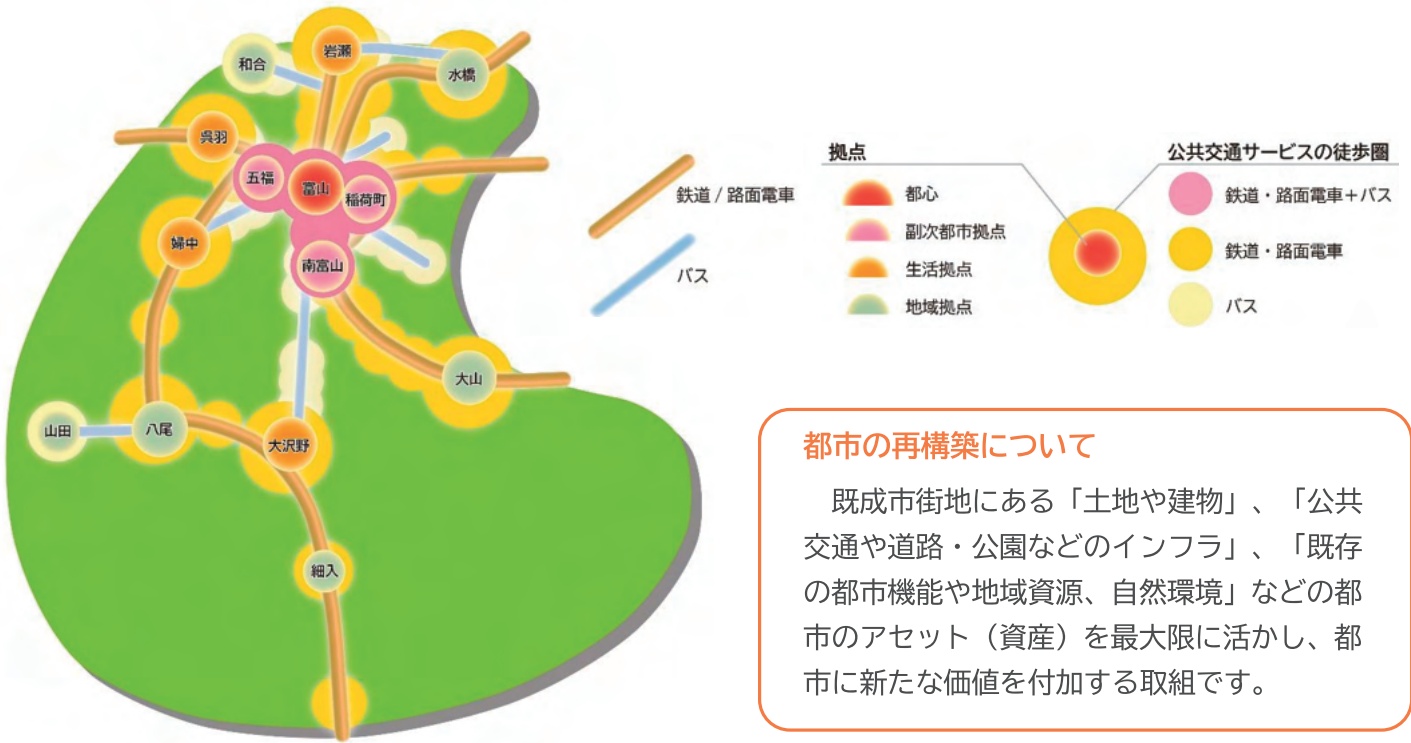
ネット通販など、移動を伴わない買い物が増え、便利になった一方で、身近なスーパーや書店などの利用者減少によりお店がなくなってしまうことで、将来的に日常生活がしづらいまちになる恐れがあります。

まちづくりの理念

これからの本市のまちづくりは、本格的な人口減少と社会情勢の変化に対応し都市の活力を創出するため、公共交通の活性化と、その沿線に居住や都市機能の集約を図るコンパクトなまちづくりを継続するとともに、地域の資源を活かして魅力を最大化する拠点形成や既成市街地の利活用により、『公共交通を軸とした都市の再構築による拠点集中型のコンパクトなまちづくり』の実現を市民や事業者の皆さんとともに目指します。

<都市の再構築により目指すお団子と串の都市構造>

- 使いやすい「串」 : 利便性や質の高い公共交通
- 色付けされた「お団子」 : 串で結ばれた特色ある徒歩圏

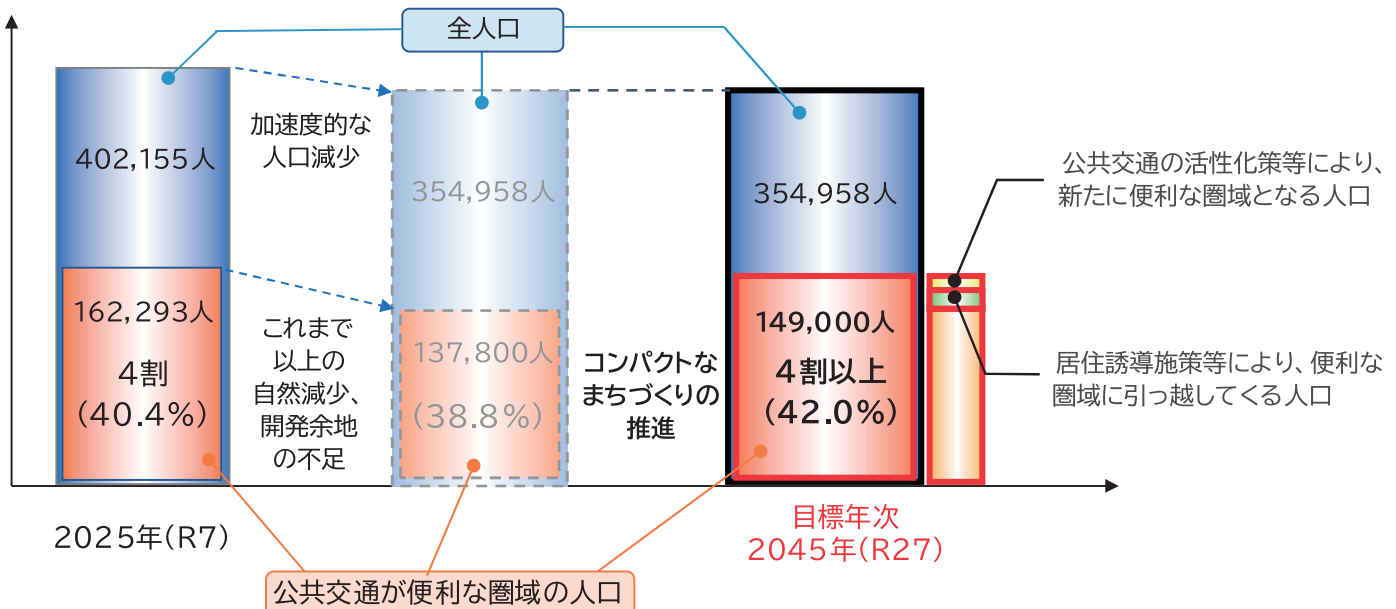


都市の再構築について

既成市街地にある「土地や建物」、「公共交通や道路・公園などのインフラ」、「既存の都市機能や地域資源、自然環境」などの都市のアセット（資産）を最大限に活かし、都市に新たな価値を付加する取組です。

数値目標

公共交通が便利な圏域に住む市民の割合を、20年後においても4割以上を目指します。



都市全体の生活像

- ・公共交通沿線で都市の再構築が進み、都心地区をはじめとした地域生活拠点では、都市の諸機能が集積し、人中心で高質な都市空間が形成された魅力あるコンパクトなまちへと変化
- ・各地域が持つ自然環境や歴史・文化などの個性が発揮された拠点形成が進み、公共交通が使いやすく充実したことで、クルマ以外の移動手段も選択し、多様なライフスタイルを享受しながら暮らしやすさを実感
- ・持続可能で災害に強い安全で安心なまちの形成が進むとともに、農地や自然環境が保全され、豊かな自然が守り育てられている

< まちの状況 >

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 魅力あるコンパクトなまちへ変化 | 使いやすく充実した公共交通ネットワーク |
| 都心や拠点での機能の集積 | 活用が進む既存市街地 |
| 人中心の高質な都市空間 | 地域の個性が発揮された拠点 |
| 地域同士が個性を認め合い連携 | 都市の広がりを抑制 |
| 維持・更新が進む社会インフラ | 農地や自然環境の保全 |
| 自然災害への備え | 守り育てられている豊かな自然 |

< ライフスタイル >

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 暮らしやすさを実感 | 日常生活を豊かにするヒトモノコトに出会える |
| 市民の多くがクルマ以外の移動手段も選択 | 多様なライフスタイルを選択 |
| 持続可能で災害に強く安心 | 地域の資源や文化などの継承 |

生活像について

イラストは、本市の都市全体を俯瞰し、まちづくりの基軸となる鉄道（橙色）、路面電車（桃色）、バス路線（水色）を都市の骨格として強調してまちの構造を描き、その沿線での居住や都市機能の集積を図った将来都市構造をイメージして作成したものです。

さらに、郊外や中山間地域を含め各地域の特性や資源を示し、20年後においてもこれらを活かした豊かな市民の暮らしをイメージしています。

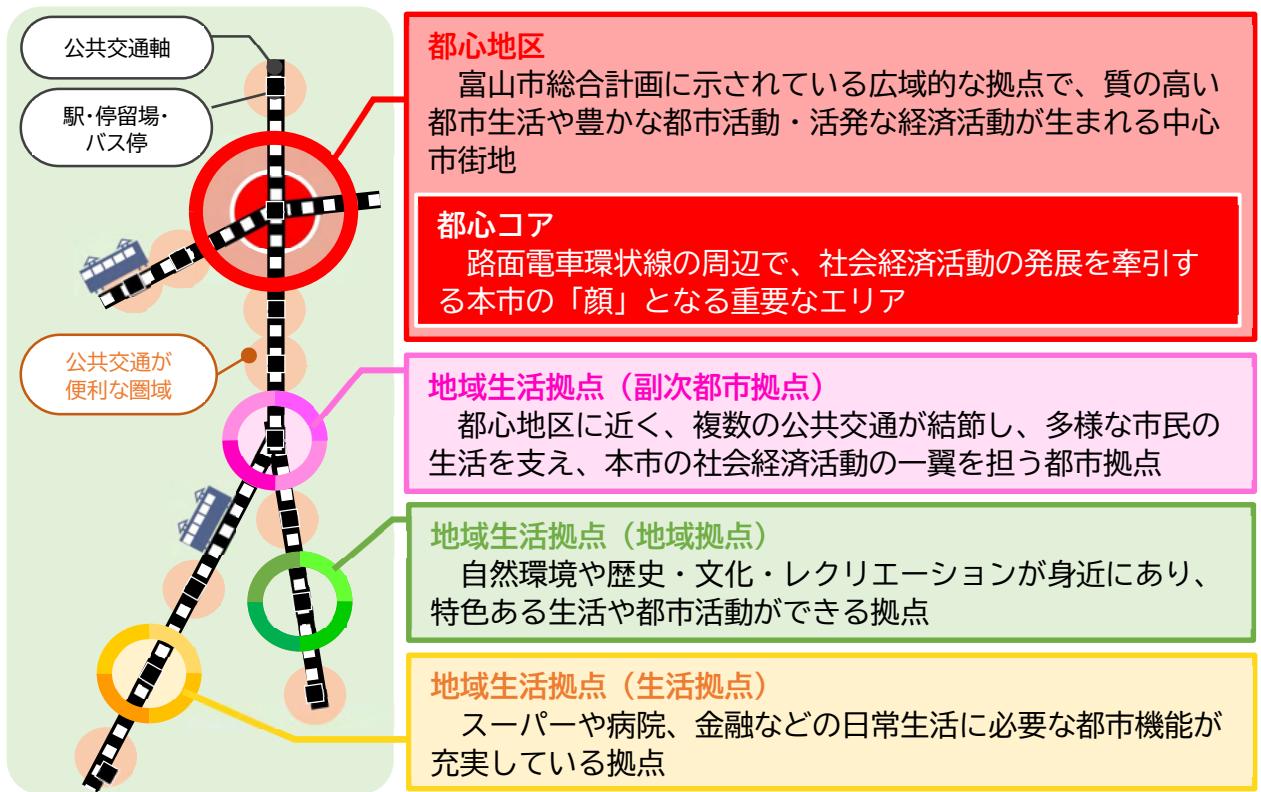
まちづくりの理念を実現することで生まれる、「まちの状況」や「市民のライフスタイルの変化」を市民や事業者の皆さんがイメージしながらともにまちづくりに取り組んでいくことが重要です。



(注) このイラストは都市全体の将来イメージであり、施設の配置などは正確でない場合があります。

地域生活拠点の拠画像・生活像

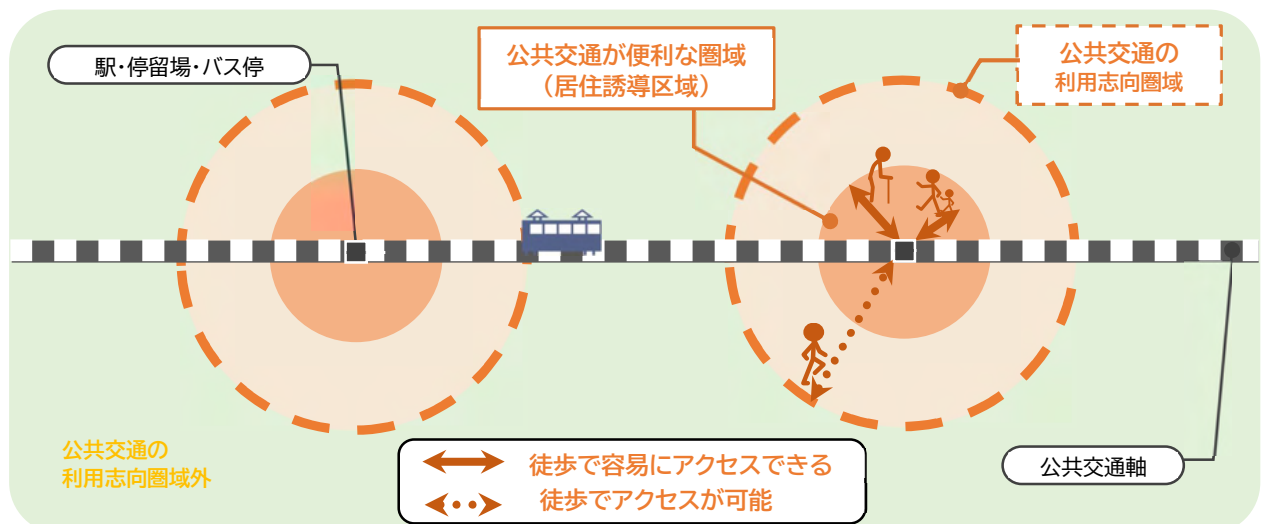
市民や事業者の皆さんとともに地域の個性や資源を活かしながら、ヒト・コト・アイデアが集まり、新たな価値やイノベーションを生み出すなど、地域の魅力を高めることで、市民の生活や活動をより豊かにする拠点を形成します。



公共交通利用を志向するエリア

市民の公共交通の利用実態を踏まえ、「公共交通の利用志向圏域」を設定し、公共交通を利用しやすい環境を創出することにより、公共交通利用を中心とした生活を選択する市民の増加を目指します。

公共交通の利用志向圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都心地区 ・ 公共交通軸の駅や停留場から概ね 750m、バス停から概ね 600mの範囲
公共交通が便利な圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都心地区 ・ 公共交通軸の駅や停留場から概ね 500m、バス停から概ね 300mで、用途地域などが定められた範囲



エリア別の生活像(地域生活拠点)

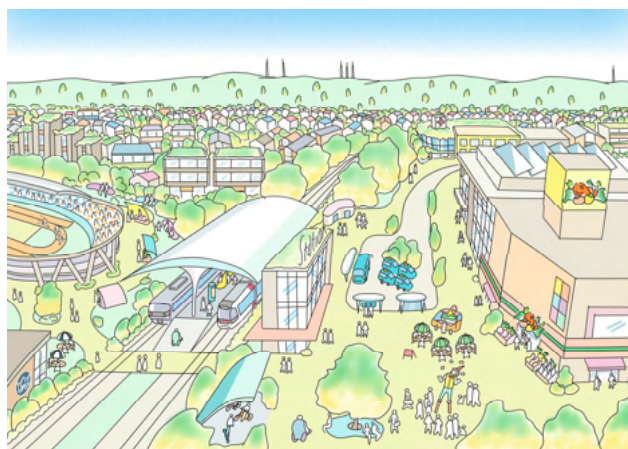
都心地区・都心コア

多様な機能が揃う人中心の快適な都市で、豊かで便利な生活と活発な活動ができる。



副次都市拠点

公共交通や生活の利便性が高く、安心かつ便利に生活でき、交流もできる。



地域拠点

自然と文化が息づく環境で、地域に根ざした豊かな暮らしと、特徴ある体験ができる。



生活拠点

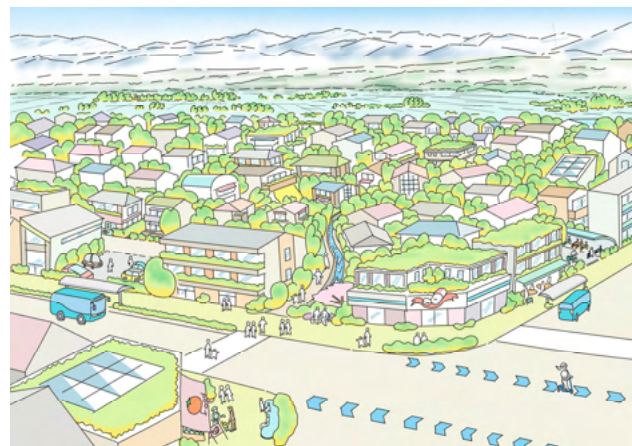
生活に必要な機能が身近にある環境で、快適に生活ができる。



エリア別の生活像(公共交通の沿線と沿線外)

公共交通の沿線

公共交通が利用しやすい環境で、車がなくても快適に暮らすことができる。



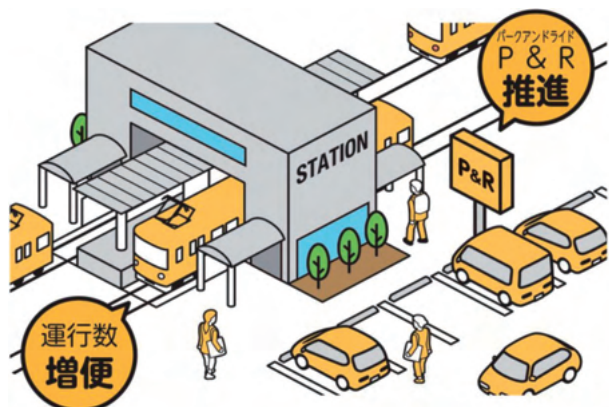
公共交通の沿線外

ICTの活用やコミュニティの共助により、移動手段等が確保され、安心して生活できる。



コンパクトな都市構造の実現に向けた取組の4本柱

公共交通の活性化



交通事業者と連携して、電車やバスなどの公共交通の維持・活性化に必要な投資を行います。公共交通を便利で使いやすくし、お出かけしやすい環境を整えることで、車に過度に頼らなくても生活できるまちを目指します。

公共交通志向型居住の推進



駅やバス停の近くに住みやすい環境を作り、生活を豊かで便利にするお店が集まるよう促すことで、公共交通の沿線で暮らすことへの魅力を高めます。これにより、公共交通の利用を中心とした生活を選択する市民の増加を目指します。

中心市街地をはじめとした拠点の形成



公共交通沿線で日常生活を送るために必要な機能が集まる地域や、歴史・文化や自然環境がある地域など、それぞれの魅力を磨き上げ、特色ある拠点を創ります。これらを公共交通で行き来することで、より豊かな生活を送れるまちを目指します。

都市空間マネジメントの推進



老朽化した道路や上下水道などの社会インフラを効率よく管理・更新し、使われない土地や建物をうまく使いなおすことで、まち全体に新しい価値を生み出していきます。これにより、いつまでも安心して安全に住み続けられるまちを目指します。

4つの取組は
どのように進める？



行政が主体となって取組を進めるだけでなく、
市民や事業者の皆さんとともに進めていくことが大切です

※市民の皆さんが「富山市都市マスタープラン」に関心を持ち、まちづくりを自分ごととして捉え、市民主体のまちづくり活動などが促進されるよう、計画のポイントをまとめた動画を作成しています。右の2次元コードからアクセスすることで、ご覧いただけます。

